

# 地域・在宅看護学実習 I

単位数（時間数）：1 単位（45 時間） 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・越納美和

科目担当者（職位・氏名）：助教・太田ゆきの 助教・阿部鮎美 助手・内藤恵介

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：59

## ■ 授業概要

地域包括ケアシステムの進化としての地域共生社会の実現にむけた地域・在宅ケアを理解する。フィールドワークにより、地域の特性や社会資源および地域の強みや弱みを捉え、地域の状況が療養者やその家族の健康や生活に影響を与えることを理解する。また地域共生型複合サービス等の多様なケアの見学を通して、地域で暮らす個人や家族のニーズと支援方法を教授する。

## ■ 到達目標

- 1) 地域アセスメントの過程を通して、アセスメントモデルの理解とその活用方法、および地域・在宅看護における地域アセスメントの必要性を理解できる。
- 2) 地域で暮らす個人や家族のニーズを理解し、支援の在り方と方法を説明できる。
- 3) 地域共生型複合サービス等の目的とケアの実際を実践的に理解できる。
- 4) 地域社会の多職種による連携と協働の実際、看護活動の関連を体験的に理解し、説明できる。

## ■ 教育内容

地域・在宅看護論

## ■ キーワード

フィールドワーク、地域共生型複合サービス、地域社会、多職種連携、多職種協働

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

月・日（曜日）	授業内容・授業方法	担当												
8月4日（月） ～ 8月8日（金）  原則 8：30～16：30	<p style="text-align: center;">●事前に学内で在宅看護実習オリエンテーションを実施する。 臨地実習は、以下のスケジュールで行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="text-align: center;">学習内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">月</td> <td>午前：学内オリエンテーション 午後：施設オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火</td> <td>多様な福祉サービスにおけるケアの見学と参加</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水</td> <td>午前：地区踏査計画作成 午後：地域アセスメント</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木</td> <td>午前：総合福祉センターの活動の見学 午後：実習のまとめ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金</td> <td>学内報告会</td> </tr> </tbody> </table> <p>*詳細は「看護学実習要項 3年生」地域・在宅看護学実習Ⅰ参照。</p>		学習内容	月	午前：学内オリエンテーション 午後：施設オリエンテーション	火	多様な福祉サービスにおけるケアの見学と参加	水	午前：地区踏査計画作成 午後：地域アセスメント	木	午前：総合福祉センターの活動の見学 午後：実習のまとめ	金	学内報告会	越納 太田 阿部 内藤
	学習内容													
月	午前：学内オリエンテーション 午後：施設オリエンテーション													
火	多様な福祉サービスにおけるケアの見学と参加													
水	午前：地区踏査計画作成 午後：地域アセスメント													
木	午前：総合福祉センターの活動の見学 午後：実習のまとめ													
金	学内報告会													

## ■ 履修条件

地域・在宅看護学概論は単位を修得済み、保健医療福祉連携論は履修済みであること。

## ■ 成績評価方法

オリエンテーションへの参加態度、事前学習、実習内容、実習記録等により総合的に評価する。  
総合して60%以上で単位を与える。

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

臨地や学内実習時に個別に対応する。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
  - 23巻 地域・在宅看護論 ① 地域療養を支えるケア
  - 24巻 地域・在宅看護論 ② 在宅療養を支える技術
  - 16巻 健康支援と社会保障 ③ 社会福祉と社会保障

## ■ 参考書・参考資料等

- ・尾崎章子編（2021）『地域・在宅看護実習ハンドブック』中央法規出版
- ・地域・在宅看護学で紹介した図書や資料

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

実習の事前学習課題は、オリエンテーション時に指示する。

## ■ 担当教員からのメッセージ

既習の知識および事前学習を前提とした実習となります。  
実習オリエンテーションは実習時間に含むので必ず出席してください。  
実習前に実習施設までの交通手段を確認しておくこと。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

臨地で随時対応します。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師、保健師、

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

臨地実習指導者

■ 実務経験を活かした教育内容

在宅領域（地域包括支援センター、訪問看護ステーション、外来）における実務経験をもとに専門的で実践的な講義と演習を行います。